

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 - 水没した鉄骨がれき撤去について -

< 参考資料 >
平成24年11月9日
東京電力株式会社

3号機使用済燃料貯蔵プールについて、視認性向上の試みとして、平成24年11月6日より冷却ポンプを停止し、視認性を確認した結果、作業上の視認距離は約2.5mからほとんど変化は、ありませんでした。

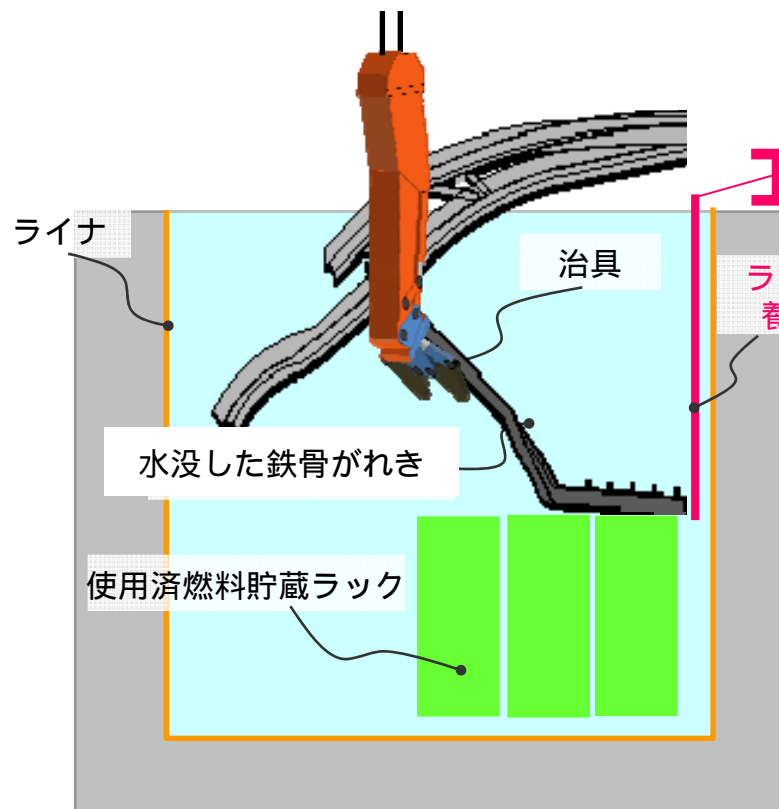
今後、平成24年9月22日に使用済燃料貯蔵プールへ滑り落ちて水没した鉄骨がれきの撤去にあたり、準備が整い次第11月中旬頃から、プールのライナ養生を実施致します。

水没した鉄骨がれきの撤去は、今後、視認性の確認結果も踏まえ、モックアップ試験等を行い、11月下旬から12月上旬にかけて実施する予定です。

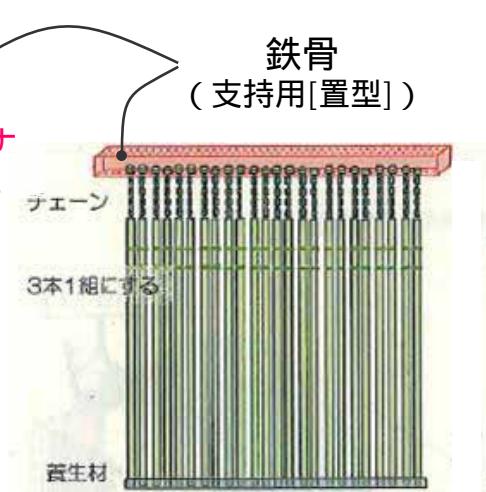
目視で作業が可能と判断した距離



養生範囲イメージ



養生設置イメージ



単管パイプを短冊形状にしたユニットを採用

養生材イメージ